

事業所における自己評価結果（公表）

別紙3

公表：令和4年1月31日

事業所名：発達支援ルームみふあそ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		事故防止のため、時間帯によって利用児数の調整をしている。密にならないよう療育室だけでなく個室を使う。	
	②	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		玄関から療育室まで段差がない。	概ね配慮されているが、フロアカーペットをもう少しクッション性の高いものにできれば尚良い。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>		消毒は毎日。定期的に清掃もしている（1週間以上あかないようにしている）。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		朝礼や事業所内研修で振り返り等はされているがPDCAサイクルの意識は未だ薄いと思う。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		待合室に掲示している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>	他事業所との連携。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		事業所内研修や勉強会。十分にある。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		感覚統合の観点からアセスメントを行うとともに、保護者の希望を踏まえて具体的な支援内容を設定している。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	<input type="radio"/>			

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		集団遊びは職員間で話し合う。個別に活動が実施されるので担当者が立案する。周りのスタッフに意見を聞く。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		児のブームや興味に合わせて提供する活動（遊び）を変化させている。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		同時間帯他児との一緒の活動、やりとりする機会がある。個室で個人で取り組む活動等も取り入れている。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝始業時間にミーティングを行っている。各担当が療育で行う遊びを他スタッフに伝えている。適宜打ち合わせ、確認を行っている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		何かしらの共通課題が浮かび上がった時は、職員間で話し合い情報共有を行っている。	気になることがあれば随時相談するよう心がけていく。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		療育後は活動記録を書いている。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		日々の保護者との会話から要望があった活動や療育プログラムを提供できるよう心がけている。	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		主担当者が参加できるよう業務日程調整を行っている。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		保護者の要望等による。	
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		保護者の要望等による。	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者の要望等による。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて行っている。保護者の要望等による。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		保護者の要望等による。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○			

	⑳	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		参加が十分ではなく、今後検討が必要である。
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		療育後は保護者に行った活動を報告し、難しかったことは次回の課題として伝えている。	
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			家庭での支援内容を聞いていく。
保護者への説明責任等	㉓	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時にご説明している。	
	㉔	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		感覚統合の観点より行っている。	
	㉕	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		日々の会話の中で悩み等の相談ができる関係性を築く。普段の療育の様子から日常生活につながるような助言をしている。	
	㉖	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	就学相談会への参加を促している。	法人が開催している相談会への参加を促し、連携をサポートしていく。
	㉗	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談に応じて法人内職員と連携したり療育内容に取り入れたりしている。	
	㉘	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		どれみ新聞、ポスター、ホームページ。	
	㉙	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	㉚	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	㉛	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		
	非常時等の対応	㉜	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		
㉝		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		救命講習会を行っている。	定期的な訓練をおこなっていく。
㉞		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	○		毎回検温を行っている。	スタッフ全員が子どもの状況について把握しておきたい。保護者からの連絡を待つだけでなく、職員から体調の変化を確認していく。

44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	食事提供なし。行事の際は対応。契約書類にアレルギーの記入あり。	
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		法人内事業所や併用児の情報共有。	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修に参加した。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。